

日本コラーゲン療法学会 ワークショップ-2026 のご案内

本ワークショップでは、コラーゲン療法への理解を深めていただくため、午前と午後それぞれに1コースずつ選択し、計2コース受講していただく形式としました。また、今大会では、オンライン参加もできるようになりました。遠方より足を運びにくい先生方にもご参加いただけるワークショップになっております。先生方の積極的なご参加をお待ち致しております。

I ワークショップ概要

日時：2026年9月12日(土)9:30~17:15(受付開始 9:00)

会場：京都ノートルダム女子大学 〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地

アクセス：京都市営地下鉄烏丸線北山駅1番出口から徒歩6分

【主要駅から地下鉄「北山」まで】 JR 京都駅から15分

阪急烏丸駅から12分

講師：(50音順・敬称略)

今村 友木子 (金城学院大学)+佐藤 睦子 (京都ノートルダム女子大学)

加藤 大樹 (金城学院大学)

西村 喜文 (西九州大学)

森谷 寛之 (京都コラーゲン療法研究所/京都文教大学名誉教授)

安田 一之 (大阪学院大学名誉教授)

山上 榮子 (森脇神経内科)

II ワークショップ参加の申し込み方法

<申し込み手続き>

スマートフォンまたはPCで申し込みフォームにアクセスし、回答をご入力ください。

ワークショップ、大会参加どちらも同じフォームから申込できます。

フォームへの入力ができない場合はメールでお申込みください。

事務局あてメールアドレス：collage.conference@gmail.com



WS・大会参加申し込みフォーム

<申し込み締切日>

参加申込期限：2026年7月31日(金)

III 受講料

* 会員 一般：5,500円 大学院生：3,500円

* 非会員 一般：6,500円 大学院生：4,500円

* オンライン参加 会員・非会員共通 一般：4,000円 大学院生：3,000円

* ランチ交流会参加費：3,000円(お弁当・お茶付き)

会場参加の方には、コングレスバッグ(学会オリジナルバッグ)をお渡しします。

IV スケジュール

| | | | |
|------|------------|-------------|-------------|
| 9:00 | 9:30~12:00 | 12:15~13:45 | 14:00~16:30 |
| 受付 | ワークショップ A | ランチ 交流会☆ | ワークショップ B |

☆懇親会(ランチ交流会)についてのお知らせ

今大会では、例年行われていた夜の懇親会はございません。その代わりに、ワークショップ当日 12 時 30 分から、本学ユージニア館にてランチ交流会を開催いたします。ワークショップご担当の先生方と気楽に交流できる時間を持ちたいと考え、今大会にて新しく設定いたしました。これに伴い、例年行われていた夜の懇親会はございません。多数のご参加を心よりお待ちしております。なお、当日参加も可能ですが、お食事の準備が出来かねる場合がございます。お食事準備の都合上、ご予約をお願いできると幸いです。

☆ 受講料の振り込みについて

受講料は、下記口座にお振込ください。郵便局備付け用紙やネット振込も可能です。ただし、払込人氏名と受講者名が一致するようにお願いします。振込みが確認できずと受付が完了したことになりませんのでご注意ください。第 18 回大会、ワークショップ、ランチ交流会の参加費用を合算して申し込む場合は、合計額にお間違いがないかよく確認し、申込フォームまたはメールで合算した費目をお知らせください。

【 振込先 】

*ゆうちょ銀行

口座番号：00850-4-73295

加入者名：日本コラーゲル療法学会大会準備委員会

*他の金融機関からの振込用口座情報

金融機関名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：089 預金種目：当座 店名：〇八九 店(ゼロハチキュウ店)

口座番号：0073295

V コース概要

<定員> 各コース 35 名程度(オンライン参加は 100 名まで)

<持ち物>制作実習のあるコースでは、講師の先生が指定された持ち物をご持参ください。

<オンライン参加の場合の注意点>

オンライン配信は、午前 I コース(C コース)、午後 I コース(F コース)において、リアルタイム配信のみとなります。オンデマンド配信はありません。

なお、臨床心理士ポイント発行を希望する場合には、着席確認があります。

<ワークショップ 1(午前)> 会場参加の先生方は、次の A~C コースから希望のコースを選んでください。

A コース 「コラージュ制作(切り貼り遊び)体験で学ぶ心理臨床実践」【制作実習あり】

講師：森谷 寛之

心理臨床実践の本質は対話(コミュニケーション)である。対話には2つの方向・種類がある。まず最初に自分自身の内面に向けての対話である。次に向きを変えて、他者との対話である。この二つの対話によって理臨床実践が成り立つ。この二つは方向と性質が違う。最初は無意識への対話であり、次に意識との対話である。

コラージュ制作実習とその振り返りは、この複雑な二つの対話を実感する機会と言えるだろう。コラージュは適用・応用範囲が広い方法であることが実感できるであろう。

準備物:身近にある雑誌やパンフレットなどで切り抜いてもよいものを2,3冊,糊はさみをご持参ください。

B コース 「コラージュ・グループ体験-コラージュ療法基本材料シート集の発展的活用」【制作実習あり】

講師：今村 友木子・佐藤 睦子

コラージュ制作をするには、まず、さまざまな雑誌やパンフレットなどの材料が必要となります。体験制作での材料と、クライアントに向けて用意する材料にはどのような違いがあるでしょう。本講座では、この「材料」に着目して、コラージュ療法を解説します。講師(佐藤)の実践に基づき、デイケアなどのグループで行うことのできる方法論をご提示いたします。制作実習では「コラージュ療法基本材料シート集」を使用します。今回は少し幅を広げた発展的な活用についても考えます。皆さんのコラージュ療法への思いも共有、交換したいと思います。さらに、さまざまな領域での活用の可能性や注意点についても併せて解説します。

準備物:のり、はさみを持参して下さい。材料はこちらで用意します。

C コース 「コラージュ療法と論文執筆」【オンライン配信あり】

講師：加藤 大樹

修士論文などで、コラージュ療法をはじめとした芸術療法や投影描画法を研究テーマに選ばれる方も多くいると思います。また、ご自身の実践の成果を学会発表や論文の形でまとめてみたいと考えている方もいらっしゃると思います。本ワークショップでは、基礎研究を中心に、先行研究のレビューと目的の設定、研究計画の立て方、分析の選び方と考察のポイントなど、論文執筆のための基本的なスキルを学ぶことを目的とします。研究成果を正しく「伝える」ためにはどのような点に気をつければよいのか、実践的なワークを通して学び、修士論文・博士論文・投稿論文などの執筆に役立つスキルを身につける機会にしましょう。

<ワークショップ 2(午後)> 会場参加の先生は、次の D~F コースから希望のコースを選んでください。

D コース 「コラージュ療法における空間軸の変容過程 ~浮遊性から中心性~」【制作実習あり】

講師：西村 喜文

コラージュ療法の中で、大切なことの一つとして、台紙に構成された作品をどう見ていくのか、それが何を意味しているのか、わからない世界をクライアントと共同してこころの世界に取り組むことは、より深く作品を理解することにつながる。

その中で、コラージュ表現がどのように変化し関連していくのか系統的に作品を見ていくことは重要である。さ

らに系列的にみていくことで時間変化、空間軸の変化などを通してクライアントの理解にもつながっていく。

本講座では、うつと診断された中年女性の1年間にわたるコラージュ作品の自験例を提示しながら「浮遊性から中心性」の空間軸を視点にクライアントの作品がどう「おさまっていく」のかについて考えてみたい。

準備物：雑誌、はさみ、のりの準備をお願いします。

Eコース「コラージュに自己を再発見する ―「問いかけシート」を用いた多次元的理解の試み」

【制作実習あり】

講師：山上 榮子

多様な人々への心理的援助に携わる支援者は、自分自身の長所・短所・志向性などを含む自己理解をしておくことが必要かと思われます。被支援者の特徴や突発的な臨床場面に思わぬ反応を返してしまう無用な逆転移現象を少なくし、有効に逆転移を活用できるようになるためです。その自己理解のために、コラージュ制作と「問いかけシート」を活かします。コラージュ制作は意識的な自分はもちろん、無意識的な自己も関与した作業であり、表現活動です。コラージュを通して未知な自分に出会う体験になることを期待しています。

準備物：はさみ、糊、使用したいものがあれば写真素材などをご持参ください。

Fコース「コラージュ療法による内面探求の試み」【オンライン配信あり】 講師：安田 一之

約20年以上昔のこと、カウンセラーを希望している人に、いわゆる「教育分析」のような方法でのカウンセリングを依頼されました。その折に、コラージュを通してカウンセリングを行おうと提案したところ、承諾されてカウンセリングを行っています。今回のワークショップでそれを取り上げたいと伝えたと、快く了解していただきました。その内容を報告させていただきます。

VI 受講資格

ワークショップの参加には、原則として日本コラージュ療法学会会員であることが必要です。ただし、非会員でも臨床心理士・公認心理師の有資格者、臨床心理学を学んでいる大学院生、心理臨床・医療・教育・福祉・産業・司法(矯正)領域等で対人援助職に従事されている方は参加可能です。

<臨床心理士資格更新ポイントについて>

臨床心理士研修ポイントを申請するためには、午前と午後のワークショップに参加申し込みが必要です。午前午後の両方へ参加された場合に研修ポイントを資格認定協会への申請を予定いたしております。（「日本臨床心理士資格認定協会が認める臨床心理学に関するワークショップまたは研修会」の分野に申請予定）

<第18回大会・ワークショップに関する連絡先>

E-mail：collage.conference@gmail.com

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1番地 京都ノートルダム女子大学 佐藤睦子研究室内
日本コラージュ療法学会 第18回大会準備委員会